

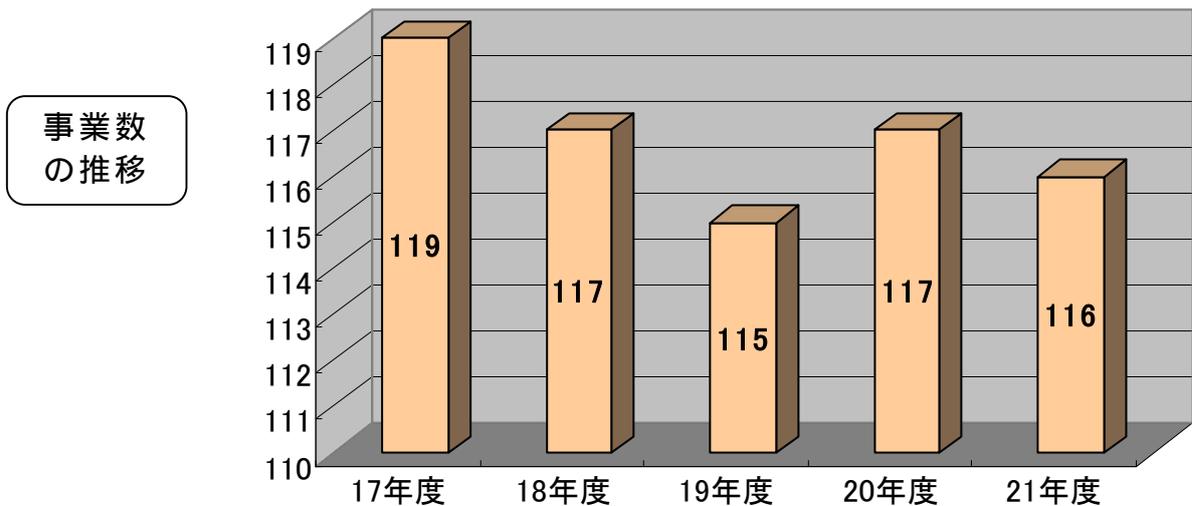
平成21年度市町等公営企業決算の概要

事業数

平成21年度末現在、116事業(対前年度比1事業、0.9%の減少)

平成17年度の事業数と比較して3事業、2.5%の減少となっている。

合計

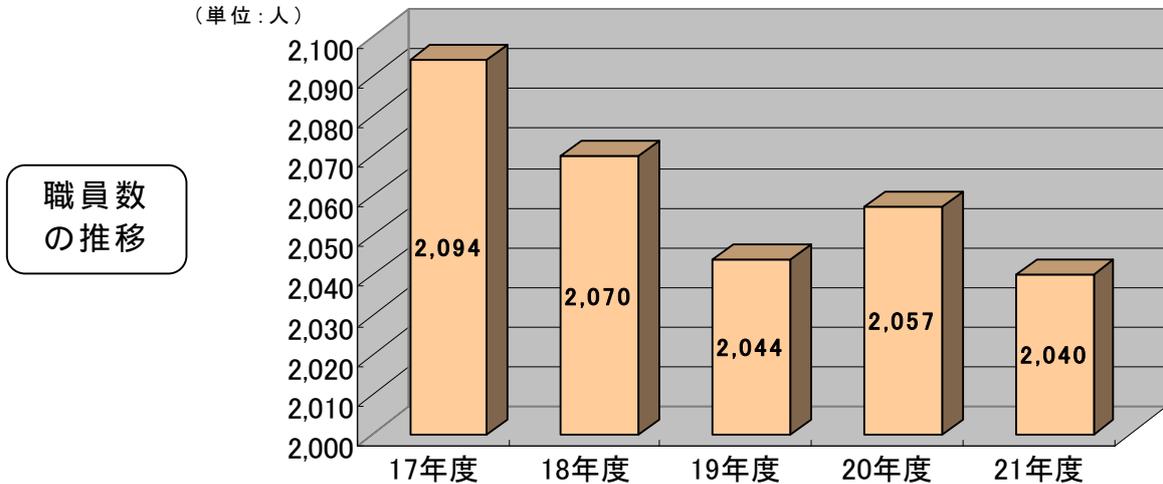


職員数

平成21年度末現在、2,040人(対前年度比17人、0.8%の減少)

平成17年度の職員数と比較して54人、2.6%の減少となっている。

(単位:人)



決算規模

1,068億2,365万円(対前年度比126億3,181万円、10.6%の減少)

平成17年度の決算規模と比較して75億2,681万円、6.6%の減少となっている。

経営の状況

経常収支35億4,200万円の黒字(対前年度比349万円の減少)

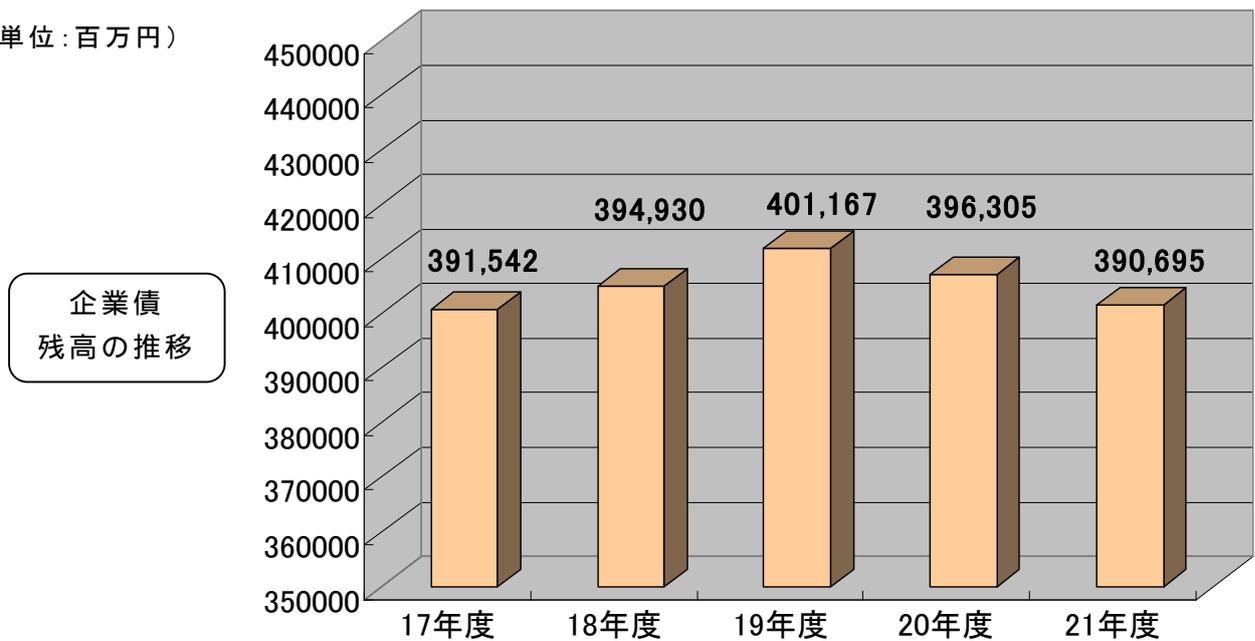
黒字事業(経常収支が0の事業含)は99事業で全体の85.3%となっている。

企業債現在高

3,906億9,479万円(対前年度比56億1,026万円、1.4%の減少)

平成17年度の残高と比較して、8億4,735万円減少している。

(単位:百万円)



(注)各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入したものである。したがって、その内訳を合計した数値は、合計欄の数値と一致しない場合がある。

(1)事業数

平成21年度末における本県市町等の地方公営企業の数 は116事業で、前年度末の117事業に比べ1事業減少している。

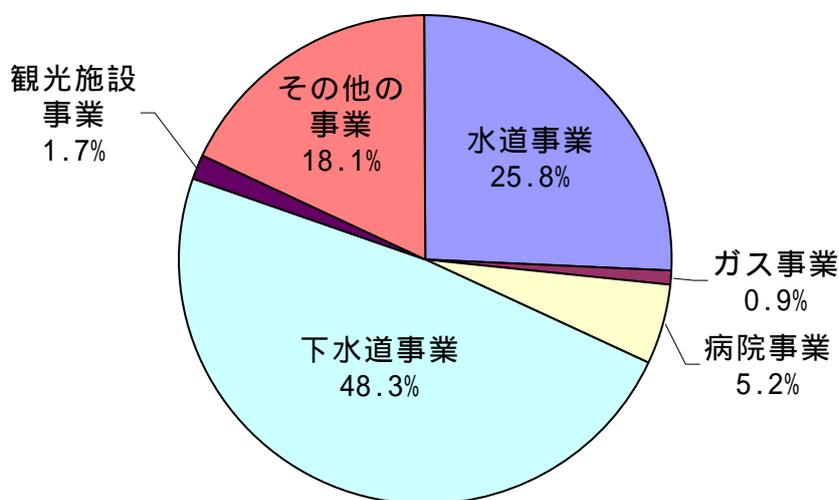
事業別にみると、下水道事業(公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、林業集落排水事業、小規模集合排水処理事業、特定地域生活排水処理事業および個別排水処理事業)が56事業で最も多く、全体の48.3%を占めている。次いで水道事業(上水道および簡易水道)が30事業(全体の25.9%)となっている。

事業別内訳

事業名	経営主体別区分			計	対前年度 増減数
	市	町	一組・ 財産区		
水道事業(※1)	15	14	1	30	
ガス事業	1			1	
病院事業	2	2	2	6	
下水道事業	29	26	1	56	1
観光施設事業		2		2	△2
その他(※2)	14	6	1	21	
合計	61	50	5	116	△1

※1・・・上水道、簡易水道

※2・・・工業用水道、港湾、市場、宅地造成、介護サービス、その他



(2) 職員数

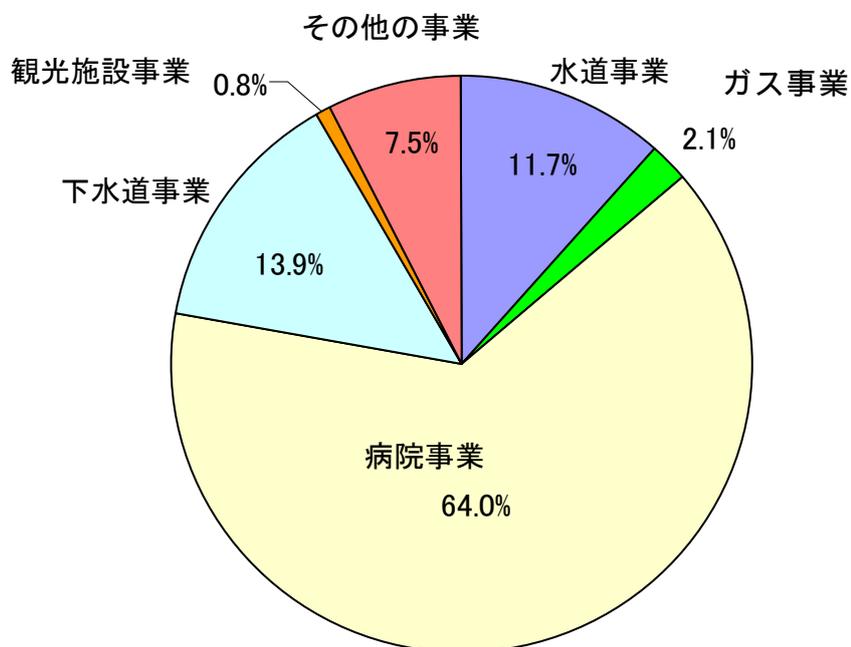
平成21年度末において地方公営企業に従事する職員数は2,040人で、前年度末の2,057人に比べ、17人(0.8%)減少している。

職員数を事業別にみると、病院事業が1,305人(全体の64.0%)と最も多く、下水道事業の283人(同13.9%)、水道事業(上水道および簡易水道)の238人(同11.7%)がこれに次いでおり、これら3事業で全体の89.6%を占めている。

職員数

(単位:人)

事業名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	対前年度増減
水道事業	271	271	262	249	238	△ 11
ガス事業	55	53	44	44	44	0
病院事業	1,248	1,238	1,266	1,274	1,305	31
下水道事業	338	331	305	303	283	△ 20
観光施設事業	28	26	27	24	16	△ 8
その他の事業	154	151	140	163	154	△ 9
合計	2,094	2,070	2,044	2,057	2,040	△ 17



(3) 決算規模

平成21年度末の決算規模は、1,068億2,365万円で、前年度の1,194億5,546万円に比べ、126億3,181万円(10.6%)減少している。

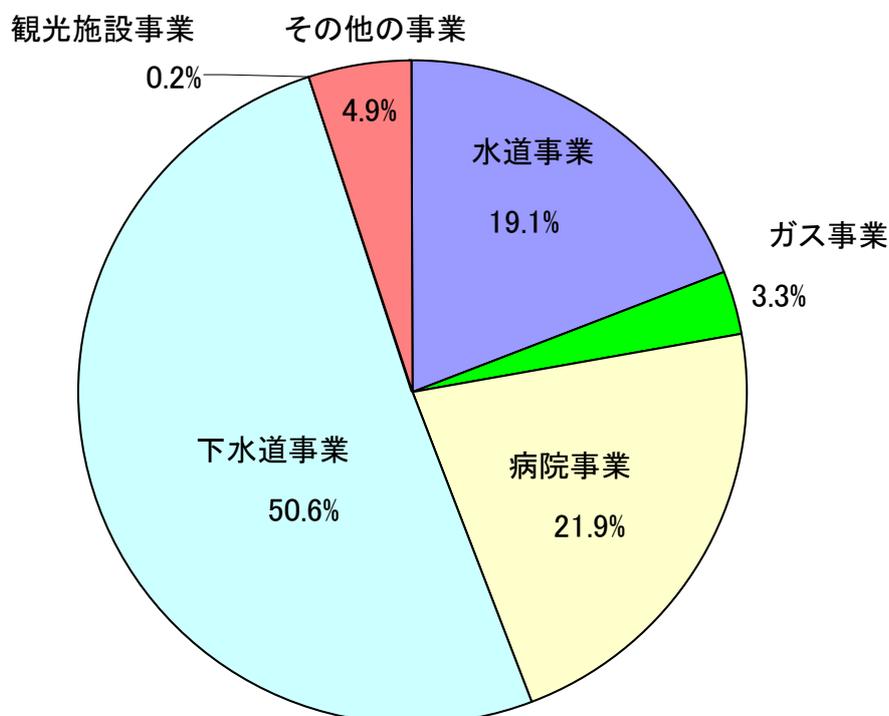
決算規模の大きな事業をみると、下水道事業が540億7,997万円(全体の50.6%)と最も大きく、次いで病院事業が234億1,802万円(同21.9%)、水道事業(上水道および簡易水道)が203億7,837万円(同19.1%)、ガス事業が34億9,685万円(同3.3%)となっている。

(注) 決算規模 法適用企業 : 総費用 - 減価償却費 + 資本的支出
 法非適用企業 : 総費用 + 資本的支出 + 積立金 + 繰上充用金

決算規模

(単位:千円、%)

事業名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	20-21増減
水道事業	20,265,976	19,726,697	23,374,290	23,165,570	20,378,372	△ 12.0
ガス事業	4,195,917	4,110,284	3,890,236	3,841,285	3,496,850	△ 9.0
病院事業	27,575,887	26,245,677	26,575,553	22,341,674	23,418,023	4.8
下水道事業	55,435,840	56,907,057	67,040,913	62,557,751	54,079,971	△ 13.6
観光施設事業	795,687	660,259	636,897	595,350	230,797	△ 61.2
その他の事業	6,081,158	5,793,476	6,566,777	6,953,834	5,219,640	△ 24.9
計	114,350,465	113,443,450	128,084,666	119,455,464	106,823,653	△ 10.6



(4) 経営の状況

企業の収益的収支の状況を示す指標として経常収益対経常費用（法非適用企業は、総収益対総費用の比率）105.8%（0.1%の増加）となっている。経常収益に占める他会計繰入金を除いた場合、82.6%（0.3%の減少）となっている。

また、平成21年度単年度の収益的収支で赤字を生じた企業は、法適用企業では8（上水道事業2、病院事業3、観光施設事業3）となっており、法非適用企業では8（下水道事業5、宅地造成事業3）となっている。

なお、平成21年度末で累積欠損金（法非適用企業は実質収支赤字）を有する企業は、法適用企業では14（上水道事業5、ガス事業1、病院事業4、下水道事業1、観光施設事業3）、法非適用企業では2（宅地造成事業2）となっている。

経営状況

（単位：千円、%）

	年度	経常収益	経常費用	経常収支比率	他会計繰入金	{(A)-(C)}/(B)
		(A)	(B)	(A/B) %	(C)	%
水道事業	20年度	14,564,855	13,781,361	105.7	1,464,400	95.1
	21年度	14,372,528	13,631,708	105.4	1,447,625	94.8
ガス事業	20年度	3,460,526	3,493,227	99.1	4,895	98.9
	21年度	3,137,510	3,128,290	100.3	2,920	100.2
病院事業	20年度	21,157,732	22,643,146	93.4	1,458,781	87.0
	21年度	22,189,988	22,977,642	96.6	1,961,298	88.0
下水道事業	20年度	21,689,264	19,520,102	111.1	10,542,504	57.1
	21年度	21,250,360	18,818,030	112.9	10,143,257	59.0
観光施設事業	20年度	571,509	603,369	94.7	100,960	78.0
	21年度	213,955	237,435	90.1	6,243	87.5
その他の事業	20年度	4,403,684	2,260,874	194.8	653,501	165.9
	21年度	3,352,334	2,181,569	153.7	588,206	126.7
計	20年度	65,847,570	62,302,079	105.7	14,225,041	82.9
	21年度	64,516,675	60,974,674	105.8	14,149,549	82.6

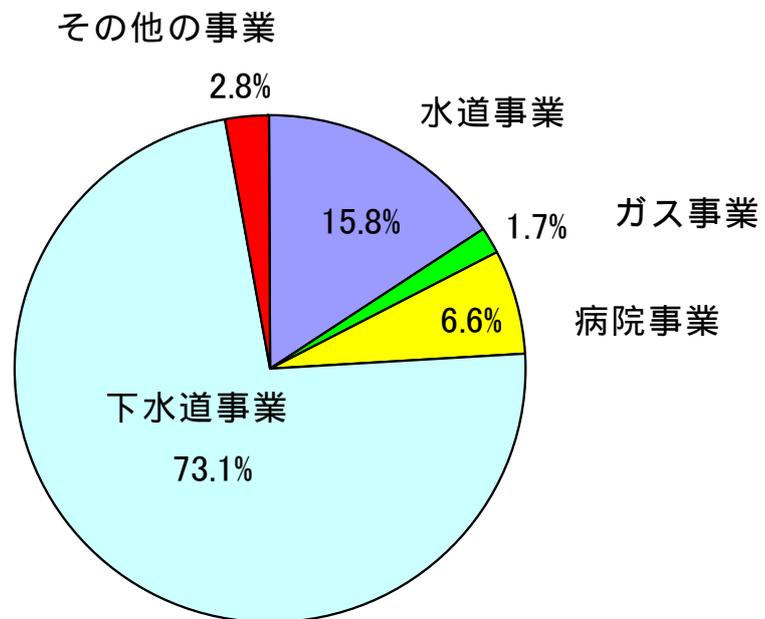
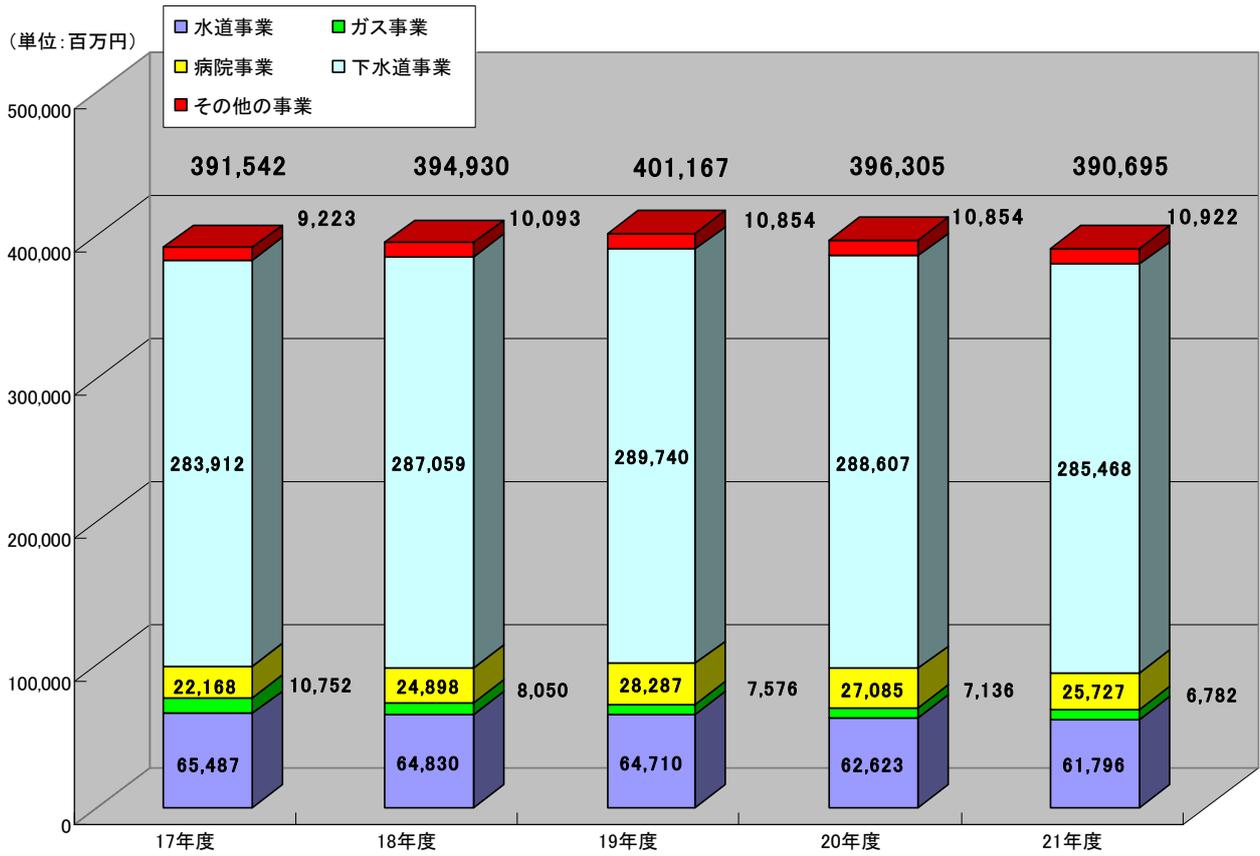
(5) 企業債残高の状況

平成21年度末の企業債残高は、3,906億9,479万円で前年度の3,963億505万円に比べ、56億1,026万円（1.4%）減少している。また、企業債残高を事業別に見ると下水道事業が2,854億6,795万円（全体の73.1%）と最も多く、次いで水道事業（上水道および簡易水道）が617億9,531万円（同15.8%）、病院事業が257億2,725万円（同6.6%）となっている。

企業債残高

（単位：千円、%）

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	20-21増減
水道事業	65,487,467	64,829,797	64,709,832	62,623,108	61,795,312	△ 1.3
ガス事業	10,751,616	8,050,720	7,575,756	7,135,451	6,782,261	△ 4.9
病院事業	22,167,777	24,898,033	28,287,212	27,085,142	25,727,245	△ 5.0
下水道事業	283,912,276	287,059,030	289,740,380	288,607,173	285,467,952	△ 1.1
その他の事業	9,223,002	10,092,859	10,853,801	10,854,173	10,922,015	0.6
計	391,542,138	394,930,439	401,166,981	396,305,047	390,694,785	△ 1.4



事業別経営の状況

(1) 水道事業(上水道事業および簡易水道事業)

事業数は上水道事業および簡易水道事業をあわせて30事業(上水道16事業、簡易水道14事業)ある。平成21年度末現在の給水人口は785,772人と前年度(788,884人)より、3,112人減少し、水道の普及率(計画給水人口に対する現在給水人口の割合)は、上水道事業が95.0%(前年度93.5%)、簡易水道事業が75.7%(前年度76.4%)となっている。

年間総有収水量は、99,306千 m^3 と前年度(101,371千 m^3)に比べ2,065千 m^3 減少、1日1人平均給水量は346リットルと前年度(352リットル)に比べ6リットル減少、有収率(総有収水量対総配水量)は、90.0%と前年度(90.5%)に比べ、0.5ポイント減少している。

水道事業における法適用企業は上水道事業の16事業であり、その収益的収支をみると経常収益は130億3,580万円(対前年度比1億5,103万円、1.1%の減)、経常費用は126億409万円(同9,929万円、0.8%の減)で、差引4億3,171万円(同5,174万円、10.7%の減)の黒字となっている。経常収支比率は103.4%と前年度(103.8%)を0.4ポイント下回っている。経常利益を生じた事業は14事業(前年度15事業)で、その額は5億1,610万円(前年度5億3,006万円)となっている。

また、累積欠損金を有する事業は5事業(前年度4事業)であり、その額は3億4,767万円(前年度3億1,349万円)となっている。

なお、給水量1 m^3 当たりの給水原価は137円03銭で、前年度(135円01銭)に比べ1円02銭高くなっている。また、給水量1 m^3 当たりの供給単価は、123円08銭で前年度(121円29銭)に比べ1円79銭高くなっており、給水原価を13円95銭(前年度13円72銭)下回っている。

資本的収支では、資本的収入は39億35万円、そのうち72.5%にあたる24億7,590万円が企業債であり、資本的支出は89億969万円となっている。

水道事業における法非適用企業は簡易水道事業の14事業であり、その収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は全体で7,585万円(対前年度比434万円の増)の黒字となっている。

事業概要

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
年度末給水人口	人	796,370	794,898	792,407	788,884	785,772	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4
年間総配水量(A)	千 m^3	119,308	117,316	115,109	111,995	110,294	△ 1.7	△ 1.9	△ 2.7	△ 1.5
年間総有収水量(B)	千 m^3	107,478	104,390	103,857	101,371	99,306	△ 2.9	△ 0.5	△ 2.4	△ 2.0
1人1日平均給水量	リットル/人	370	360	359	352	346	△ 2.7	△ 0.3	△ 1.9	△ 1.7
有収率(B)／(A)	%	90.1	89.0	90.2	90.5	90.0				

経営状況(上水道事業)

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
経常収益(A)	百万円	12,843	12,478	12,700	13,187	13,036	△ 2.8	1.8	3.8	△ 1.1
経常費用(B)	百万円	11,919	12,069	12,557	12,703	12,604	1.3	4.0	1.2	△ 0.8
経常収支比率(A/B)	%	107.8	103.4	101.1	103.8	103.4				
累積欠損金	百万円	64	80	463	313	348	25.0	478.8	△32.4	11.2
供給単価	円	114.9	114.1	114.9	121.3	123.1	△ 0.7	0.7	5.6	1.5
給水原価	円	123.4	126.4	131.6	135.0	137.0	2.4	4.1	2.6	1.5
資本的収入	百万円	3,877	3,066	6,296	5,906	3,900	△ 20.9	105.3	△ 6.2	△ 34.0
資本的支出	百万円	8,287	7,856	10,998	10,925	8,910	△ 5.2	40.0	△ 0.7	△ 18.4

経営状況(簡易水道事業)

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
総収益(A)	百万円	1,606	1,534	1,491	1,378	1,337	△ 4.5	△ 2.8	△ 7.6	△ 3.0
総費用(B)	百万円	1,244	1,229	1,218	1,078	1,028	△ 1.2	△ 0.9	△ 11.5	△ 4.6
収益的収支差引(A-B)	百万円	362	305	273	300	309	△ 15.7	△ 10.5	9.9	3.0
資本的収入(C)	百万円	2,209	2,159	2,220	2,221	1,621	△ 2.3	2.8	0.0	△ 27.0
資本的支出(D)	百万円	2,436	2,409	2,490	2,475	1,889	△ 1.1	3.4	△ 0.6	△ 23.7
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 227	△ 250	△ 270	△ 254	△ 268	△ 10.6	△ 8.0	5.9	5.5
実質収支	百万円	68	85	61	72	76	25.0	△ 28.2	18.0	5.6

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(2)工業用水道事業

工業用水道事業は3団体(あわら市、越前市、若狭町)が経営しており、給水先事業所数は16箇所となっている。

年間総配水量は1,911千 m^3 (対前年度比173千 m^3 、8.3%の減)、1日平均配水量は5,239 m^3 (前年度5,627 m^3)となっている。

経常収益は7,827万円(対前年度比351万円、4.7%の増)、経常費用は6,580万円(同390万円、5.6%の増)となっており、差引1,247万円の黒字となっている。

経常収支比率は119.0%と前年度(107.3%)を11.7ポイント上回っている。

また、資本的収入は6,914万円、資本的支出は8,393万円となっている。

(3)ガス事業

ガス事業は1団体(福井市)が経営しており、平成21年度末現在の供給戸数は28,701戸(対前年度比460戸、1.6%の減)となっている。

ガスの供給量は、1,061,405千MJで前年度(1,024,157千MJ)に比べ37,248千MJ(3.6%)増加している。

経常収益は31億3,751万円(対前年度比3億2,302万円、9.3%の減)、経常費用は31億2,829万円(同3億6,494万円、10.4%の減)で、差引922万円の黒字となっている。

経常収支比率は100.3%と前年度(99.1%)を1.2ポイント上回っており、30億993万円の欠損金を生じている。

また、資本的収入3億122万円、資本的支出は11億2,745万円となっている。

事業概要

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
年度末供給戸数	戸	36,683	36,088	29,597	29,161	28,701	△ 1.6	△ 18.0	△ 1.5	△ 1.6
ガス生産量(A)	千MJ	785,356	875,374	1,065,998	1,038,341	1,075,885	11.5	21.8	△ 2.6	3.6
ガス供給量(B)	千MJ	771,837	872,346	1,046,060	1,024,157	1,061,405	13.0	19.9	△ 2.1	3.6
有収率(B)／(A)	%	98.3	99.7	98.1	98.6	98.7				

経営状況

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
経常収益(A)	百万円	3,442	3,341	3,363	3,461	3,138	△ 2.9	0.7	2.9	△ 9.3
経常費用(B)	百万円	4,045	3,843	3,639	3,493	3,128	△ 5.0	△ 5.3	△ 4.0	△ 10.4
経常収支比率(A／B)	%	85.1	86.9	92.4	99.1	100.3				
累積欠損金	百万円	3,069	3,604	2,986	3,019	3,010	17.4	△ 17.1	1.1	△ 0.3
資本的収入	百万円	326	1,061	427	220	301	225.5	△ 59.8	△ 48.5	36.8
資本的支出	百万円	1,145	1,141	1,043	1,107	1,127	△ 0.3	△ 8.6	6.1	1.8

(4) 病院事業

病院事業は6団体(敦賀市:市立敦賀病院、坂井市:市立三国病院、越前町:国民健康保険織田病院、若狭町:国民健康保険上中病院、公立小浜病院組合:公立小浜病院・レイクヒルズ美方病院、公立丹南病院組合:公立丹南病院)が経営しており、病床数は1,322床を有している。

平成21年度の利用患者数は年延入院患者数で357,365人(対前年度比6,504人、1.9%の減)、年延外来患者数で717,241人(対前年度比17,455人、2.4%の減)となっている。

経常収益は221億8,999万円(対前年度比10億3,226万円、4.9%の増)、経常費用は229億7,764万円(同3億3,450万円、1.5%の増)で、差引7億8,765万円の赤字となっている。経常収支比率は、96.6%で前年度(93.4%)を3.2ポイント上回っている。

資本的収支についてみると、資本的収入は13億8,603万円、そのうち14.6%にあたる2億180万円が企業債であり、資本的支出は21億2,091万円となっている。

事業概要

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
病床数	床	1,300	1,325	1,365	1,365	1,322	1.9	3.0	0.0	△ 3.2
年延入院患者数(A)	千人	373	357	359	364	357	△ 4.3	0.6	1.4	△ 1.9
年延外来患者数(B)	千人	787	764	754	735	717	△ 2.9	△ 1.3	△ 2.5	△ 2.4
年延患者数(A+B)	千人	1,160	1,121	1,113	1,099	1,074	△ 3.4	△ 0.7	△ 1.3	△ 2.3
1日平均入院患者数(C)	人	1,020	977	980	994	979	△ 4.2	0.3	1.4	△ 1.5
1日平均外来患者数(D)	人	2,983	2,899	2,857	2,797	2,730	△ 2.8	△ 1.4	△ 2.1	△ 2.4
1日平均患者数(C+D)	人	4,003	3,876	3,837	3,791	3,709	△ 3.2	△ 1.0	△ 1.2	△ 2.2
病床利用率	%	78.7	73.9	71.8	73.0	74.1				

経営状況

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
経常収益(A)	百万円	21,263	19,751	20,247	21,158	22,190	△ 7.1	2.5	4.5	4.9
経常費用(B)	百万円	21,701	21,156	21,484	22,643	22,978	△ 2.5	1.6	5.4	1.5
経常収支比率(A/B)	%	98.0	93.4	94.2	93.4	96.6				
累積欠損金	百万円	1,613	3,103	4,592	6,087	6,901	92.4	48.0	32.6	13.4
資本的収入	百万円	5,915	5,419	5,617	967	1,386	△ 8.4	3.7	△ 82.8	43.3
資本的支出	百万円	7,085	6,160	6,180	1,517	2,121	△ 13.1	0.3	△ 75.5	39.8

(5) 下水道事業

下水道事業の数は56事業(法適用7事業、法非適用49事業)であり、前年度からは1事業増加している。

内訳を事業別にみると、公共下水道事業が14事業(うち法適用4事業)、特定環境保全公共下水道事業が8事業(うち法適用1事業)、特定公共下水道事業が1事業、農業集落排水事業が17事業(うち法適用2事業)、漁業集落排水事業が7事業、林業集落排水事業が2事業、小規模集合排水処理事業が3事業、特定地域生活排水処理事業が2事業および個別排水処理施設整備事業が2事業となっている。

処理区域内人口は678,780人(前年度662,859人)であり、年間総処理水量は、122,717千 m^3 (同118,386千 m^3)である。

法適用企業の経営状況をみると、経常収益は111億1,900万円(対前年度比1億4,500万円、1.3%の減)、経常費用は106億1,300万円(同4億400万円、3.7%の減)であり、差引5億600万円の黒字となっている。

資本的収支では、資本的収入は144億2,500万円であり、資本的支出は189億8,700万円となっている。

法非適用企業をみると、収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は2億3,400万円(同3,600万円、18.2%の増)の黒字となっている。

このように下水道事業全体の収支は黒字となっているが、これは一般会計等から多額の繰入が行われていることによる。下水道事業に対する一般会計からの繰入金(法適用企業、法非適用企業の合計)は、総収益(212億5,000万円)のうち51.7%にあたる109億7,800万円、資本的収入(323億3,400万円)のうち18.6%にあたる60億2,000万円、合計で169億9,800万円(対前年度比8億800万円、5.0%の増)にのぼっている。

この一般会計からの負担は各団体の財政を圧迫してきており、計画的な事業遂行、使用料の適正化、水洗化率の向上など経営の改善を図っていく必要がある。下水道事業は他の事業に比べ資本整備が長期間にわたり、その間の建設投資も莫大であることから、事業実施団体の発行する起債も多額のものとなっている。

平成21年度末での企業債残高(法適用企業、法非適用企業の合計)は全体で2,854億6,800万円(対前年度31億3,900万円、1.1%の減)となっている。

事業概要

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
処理区域内人口	人	619,347	634,733	649,292	662,859	678,780	3.1	2.5	2.3	2.1	2.4
処理区域内面積	㎡	18,818	19,354	19,942	20,650	21,912	5.3	2.8	3.0	3.6	6.1
年間総有処理量	千m ³	122,180	115,354	119,102	118,386	122,717	2.9	△ 5.6	3.2	△ 0.6	3.7
年間総有収水量	千m ³	78,865	78,158	80,064	80,239	80,244	3.0	△ 0.9	2.4	0.2	0.0

経営状況(法適用企業)

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
経常収益(A)	百万円	9,993	10,815	11,715	11,264	11,119	12.8	8.2	8.3	△ 3.8	△ 1.3
経常費用(B)	百万円	9,837	10,714	11,532	11,017	10,613	11.4	8.9	7.6	△ 4.5	△ 3.7
経常収支比率(A/B)	%	101.6	100.9	101.6	102.2	104.8	1.3	△ 0.6	0.6	0.7	2.5
資本費単価	円	115.2	163.7	162.9	154.3	290.5	0.0	42.1	△ 0.5	△ 5.3	88.3
使用料単価	円	132.6	164.9	143.2	130.0	130.0	△ 0.5	24.4	△ 13.2	△ 9.2	0.0
処理原価	円	236.0	267.7	266.7	246.7	379.0	0.9	13.4	△ 0.4	△ 7.5	53.6
資本的収入	百万円	11,563	11,903	18,912	16,738	14,425	21.7	2.9	58.9	△ 11.5	△ 13.8
資本的支出	百万円	14,323	14,790	22,699	20,887	18,987	12.9	3.3	53.5	△ 8.0	△ 9.1

経営状況(法非適用企業)

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
総収益(A)	百万円	10,702	10,752	10,531	10,425	10,131	△ 15.6	0.5	△ 2.1	△ 1.0	△ 2.8
総費用(B)	百万円	10,014	9,684	9,012	8,503	8,205	△ 14.8	△ 3.3	△ 6.9	△ 5.6	△ 3.5
収益的収支差引(A-B)	百万円	688	1,067	1,518	1,922	1,926	△ 25.4	55.1	42.3	26.6	0.2
資本的収入(C)	百万円	22,760	23,867	25,706	23,672	17,909	△ 15.9	4.9	7.7	△ 7.9	△ 24.3
資本的支出(D)	百万円	23,645	24,876	27,380	25,854	20,029	△ 15.7	5.2	10.1	△ 5.6	△ 22.5
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 885	△ 1,009	△ 1,674	△ 2,182	△ 2,120	8.4	△ 14.0	△ 65.9	△ 30.3	△ 2.8
実質収支	百万円	197	449	193	198	234	21.0	127.9	127.5	2.6	18.2

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(6) 港湾整備事業

敦賀市のみが実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は1,833万円(対前年度比162万円、8.1%の減)の黒字となっている。

(7) 市場事業

福井市のみが実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は86万円(対前年度比55万円、177.4%の増)の黒字となっている。

(8) 観光施設事業

観光施設は、休養宿泊施設を3団体(小浜市、越前町、高浜町)が実施している。

平成21年度の年間延宿泊者数は17,560人で前年度(22,979人)に比べ5,419人(23.6%)減少している。

経常収益は2億1,396万円(対前年度比8,055万円、27.4%の減)、経常費用は2億3,744万円(同7,668万円、24.4%の減)で、差引2,348万円の赤字であり、経常収支比率は90.3%で前年度(93.8%)を3.5ポイント下回っている。

また、3事業において1億3,634万円の累積欠損金を生じている。

事業概要

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
年延宿泊者数(A)	人	38,251	34,573	25,529	22,979	17,560	△ 9.6	△ 26.2	△ 10.0	△ 23.6
年延休憩利用者数(B)	人	12,688	14,271	13,989	14,146	10,469	12.5	△ 2.0	1.1	△ 26.0
年延利用者数(A+B)	人	50,939	48,844	39,518	37,125	28,029	△ 4.1	△ 19.1	△ 6.1	△ 24.5
1日平均宿泊者数(C)	人	105	95	70	63	48	△ 9.5	△ 26.4	△ 9.9	△ 23.8
1日平均休憩利用者数(D)	人	35	39	39	39	29	11.4	0.0	0.0	△ 25.6
1日平均利用者数(C+D)	人	140	134	109	102	77	△ 4.3	△ 18.7	△ 6.4	△ 24.5
年間輸送人員 (スキーリフト)	千人	0	0	0	0	0	—	—	—	—
年間延利用者数(その他観光施設)	人	237,937	241,672	240,483	221,792	0	1.6	△ 0.5	△ 7.8	△ 100.0

経営状況(法適用企業)

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
経常収益(A)	百万円	334	367	325	295	214	9.9	△ 11.4	△ 9.2	△ 27.5
経常費用(B)	百万円	360	367	344	314	237	1.9	△ 6.3	△ 8.7	△ 24.5
経常収支比率(A/B)	%	92.8	99.9	94.4	93.8	90.3				
累積欠損金	百万円	41	74	93	113	136	80.5	25.7	21.5	20.4
資本的収入	百万円	1	0	0	0	0	皆減	—	—	—
資本的支出	百万円	15	16	13	14	14	6.7	△ 18.8	7.7	0.0

経営状況(法非適用企業)

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
総収益(A)	百万円	408	319	262	277	—	△ 21.8	△ 17.9	5.7	—
総費用(B)	百万円	403	300	278	289	—	△ 25.6	△ 7.3	4.0	—
収益的収支差引(A-B)	百万円	6	18	△ 16	△ 12	—	200.0	△ 188.9	△ 25.0	—
資本的収入(C)	百万円	42	0	24	0	—	皆減	皆増	皆減	—
資本的支出(D)	百万円	42	0	24	0	—	皆減	皆増	皆減	—
資本的収支差引(C-D)	百万円	0	0	0	0	—	—	—	—	—
実質収支	百万円	10	28	12	0	—	180.0	△ 57.1	皆減	—

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

※法非適用の観光施設事業については、21年度以降、対象事業なし

(9) 宅地造成事業

宅地造成事業は7団体が実施しており、全体でみた実質収支は3,274万円の黒字(対前年度比1億8,888万円、121.0%の増)となっている。

経営状況

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
総収益(A)	百万円	2,076	1,471	2,012	2,108	1,320	△ 29.1	36.8	4.8	△ 37.4
総費用(B)	百万円	185	189	458	479	690	2.2	142.3	4.6	44.1
収益的収支差引(A-B)	百万円	1,891	1,282	1,553	1,629	630	△ 32.2	21.1	4.9	△ 61.3
資本的収入(C)	百万円	943	1,530	1,374	1,914	1,499	62.2	△ 10.2	39.3	△ 21.7
資本的支出(D)	百万円	2,956	2,781	2,914	3,790	1,820	△ 5.9	4.8	30.1	△ 52.0
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 2,014	△ 12,525	△ 1,540	△ 1,876	△ 321	△ 521.9	87.7	21.8	△ 82.9
実質収支	百万円	207	47	181	△ 156	33	△ 77.3	285.1	△ 186.2	△ 121.2

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(10) 駐車場整備事業

駐車場整備事業は福井市、小浜市、鯖江市および越前市の4団体が実施しており、収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は5,859万円(対前年度比1,328万円、29.3%の増)の黒字となっている。

経営状況

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
総収益(A)	百万円	765	570	555	562	551	△ 25.5	△ 2.6	1.3	△ 2.0
総費用(B)	百万円	435	226	198	208	169	△ 48.0	△ 12.4	5.1	△ 18.8
収益的収支差引(A-B)	百万円	330	344	357	354	382	4.2	3.8	△ 0.8	7.9
資本的収入(C)	百万円	0	0	0	67	0	—	—	皆増	
資本的支出(D)	百万円	326	337	344	402	366	3.4	2.1	16.9	△ 9.0
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 326	△ 337	△ 344	△ 335	△ 366	△ 3.4	△ 2.1	△ 2.6	9.3
実質収支	百万円	18	25	36	45	59	38.9	44.0	25.0	31.1

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(11) 介護サービス事業

介護サービス事業は、平成12年4月の介護保険法施行に伴って実施されている事業であり、4団体が実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は、2,605万円(対前年度比4,127万円、61.3%の減)の黒字となっている。

経営状況

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減	20-21増減
総収益(A)	百万円	837	712	611	710	439	△ 14.9	△ 14.2	16.2	△ 38.2
総費用(B)	百万円	761	673	531	635	385	△ 11.6	△ 21.1	19.6	△ 39.4
収益的収支差引(A-B)	百万円	77	39	80	75	54	△ 49.4	105.1	△ 6.3	△ 28.0
資本的収入(C)	百万円	48	24	707	18	30	△ 50.0	2,845.8	△ 97.5	66.7
資本的支出(D)	百万円	52	44	716	33	34	△ 15.4	1,527.3	△ 95.4	3.0
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 4	△ 19	△ 9	△ 15	△ 4	△ 375.0	52.6	66.7	△ 73.3
実質収支	百万円	111	48	64	67	26	△ 56.8	33.3	4.7	△ 61.2

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(12) その他事業

その他事業としては、こしの国広域事務組合がケーブルテレビ事業を実施している。

平成16年度から事業を開始しており、経常収益は2億769万円(対前年度比584万円、2.9%の増)、経常費用は1億9,647万円(対前年度比731万円、3.6%の減)で、差引1,122万円の黒字であり、経常収支比率は106.1%で前年度(99.1%)を7.0ポイント上回っている。

資本的収支は、資本的収入2,447万円、資本的支出9,182万円となっている。

経営状況

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	14	64	197	202	208	357.1	207.8	2.5
経常費用(B)	百万円	14	63	171	204	196	350.0	171.4	19.3
経常収支比率(A/B)	%	100.1	101.0	115.2	99.1	106.1			
累積欠損金	百万円	0	0	0	△ 2	9	—	—	皆減
資本的収入	百万円	567	779	216	0	24	37.4	△ 72.3	皆減
資本的支出	百万円	587	783	238	65	92	33.4	△ 69.6	△ 72.7